

未来に「な」がる Vol.3
エコ・ワード

ニュースで耳にする環境「ワード」。
明日への行動につなげてみよう。

問 環境政策課／Tel674-7486

答え すべて正解

解説

近年、インターネットを利用した買い物が急速に拡大したことなどにより、宅配便の取扱個数はこの10年間で約1.5倍の年間約48億個となっています。

一方で、最近の調査では、宅配便の約12%が再配達となっており、受け取るまでの時間のロスや再配達に要するエネルギーなどの損失が問題となっています。自分に合った方法でスムーズに受け取ることが大切です。

問題 駅や商業施設などに設置されている「オープン型宅配ボックス」を利用することでどのような効果が得られるでしょうか。

ID 059394

- A 受け取る時間が拘束されない
- B 非対面で荷物を受け取ることができる
- C 宅配車両の二酸化炭素排出量の削減

再配達を削減するには？

メールやアプリなどを活用
配達時間を指定しよう

荷物の配達時間を自分が受け取れる時間に指定すると、確実に受け取れます。また、荷物の配達予定を事前にお知らせしてくれて、任意の時間帯に変更ができるアプリなどのサービスも活用しましょう。

受取場所に宅配ボックス、コンビニなどを指定しよう

オープン型宅配ボックスのほか、コンビニ受け取りも時間の制約が少なく便利で、仕事帰りなど配達時間外に受け取れます。

